

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2527回★ 岳連自然保護委員会 きのこ観察会 宝ヶ池	10月14日(日) 10:00 地下鉄 国際会館駅 5番出入口 (南側の広場)集合	方山 宗子	宝ヶ池公園周辺 14:00頃解散予定
<p>備考 昨年の観察会では、美しい「カワムラフウセンタケ」など、たくさんのきのこを観察することができました。今年はどうでしょうか。問題になっている地球温暖化の影響はきのこの世界にも及んでいるのでしょうか。</p> <p>参加申し込み希望者は、10月5日(金)までに担当者へ連絡してください。</p> <p>費用 参加費 300円</p> <p>講師 関西菌類談話会 佐野 修治先生, 中嶋佐恵子先生</p> <p>服装 歩きやすい服装(山道も歩きます)</p> <p>携行品 昼食, 水筒, 雨具, 軍手, ルーペなど</p>			
第2528回★ 小谷山	10月21日(日) 8:00 JR 京都駅 2番ホーム売店前集合	清水 康裕	JR 京都駅-JR 河毛駅…登山口…(大手道)…小谷城本丸跡…京極丸跡…清水谷分岐…小谷山山頂…福寿丸跡…山城丸跡…JR 河毛駅-JR 京都駅
<p>備考 参加希望者は、担当者まで連絡してください。</p> <p>地形図 国土地理院1/25,000「虎御前山」</p>			

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2529回★ 越知山	10月27日(土) 7:00 壬生厚生会館前集合	吉田 武	京都-敦賀IC-鯖江IC-朝日町-杖立-小川-登山口… 越知神社…越知山…登山口-杖立-織田-武生IC-敦賀IC-京都
備考 参加希望者は、担当者まで連絡してください。 費用 2,000円 地形図 国土地理院1/25,000「織田」,「越前蒲生」			
今月の集会 日時 10月11日(木) 18:30~ 場所 厚生会館 4F 大教室		企画運営委員会 日時 10月22日(月) 18:30~ 場所 厚生会館 4F 六角会議室	



日中街中は依然として、うだるような暑さが衰えを見せず、ドンと腰を据えて居座っているが、さすがに、朝晩は涼しくなり、秋虫の奏でる音色が秋の訪れを「待たせたね」と言わんばかりに響き渡っている。山のふもとの風景もいつのまにか装いを変えており、かつての水田では、たわわに実った稲穂が競うように頭を下げ、赤とんぼがそこかしこに乱舞する光景がなんともいえない切ない気持ちにさせてくれる。

今年、これまでの我が山行記録と言え、7月に用事のついでに北の大地、蝦夷富士に駆け足で登った1日だけである。このところ、山登りは控えめになり、山岳部に席を置く前まではまっていたオートキャンプに、家族総出で積極的に出かけている。登山とはまた違った自然との接し方に改めて新鮮さを感じているところである。

オートキャンプに出かけるにあたり思うのだが、持参する装備の豊富さにまず驚かされる。シンプルキャンプを求めるキャンパーも数多くいるが、キャンピングライフに快適さをもとめたスタイルが流行っているようである。テントは一人当たりの床面積を広くとり大きな物が主流となり、その室内空間も立って歩き回れるほどである。ツーバーナー等料理に要する器具専用のテーブルがあり、それにランタンフックや洗浄後の食器を乾燥させるネット等が配備される。家庭のキッチンに匹敵せんばかりの勢いである。料理のバリエーションも豊富で、定番のバーベキューはもちろん、ダッチオーブンなるものを使えば、これまた絶品のメニューが数多く作り上げることが出来る。食後はフットレスト付のおもいきりリクライニングさせた椅子に横たわり、パコレーターで入れたコーヒーをすすりながら夜空をゆっくり見上げる。なんともいえない至高なひと時である。ただ、これら数え上げるときりが無い贅沢を味わうに当たっての代償と言うか当然ついてくる事実として、装備の重量のことが

ある。ひとつひとつが相当の重さを有しており、車からの出し入れはもちろん、設営場所までの往復等にはなかなか苦労させられる。キャンプ場によっては、運搬用リアカーの貸出しがありとても楽チンであり、市販されているキャンプ用品専用の運搬カートを使う手もある。

山もキャンプ場も秋冬シーズンに突入し、夏以上の装備と経験が必要となってくるが、工夫をこらし、情報収集を怠らないようにすることにより、軽量で快適なものとなり、間違いなく楽しい時間が流れることであろう。自然の厳しさと美しさが増す季節なのだから、果敢に野山に出かけて行こうと切に思う。

(2007. 9. 25 by MatsuKen)

【第2522回例会】

かな 神流川「金山沢から両神山」

OB 吉田 武

夏は沢登りに限ると思って今まで8月には沢登り例会を行ってきました。

1986年 甲州の笛吹川 東沢釜ノ沢を最初に例会にして今回17回目の例会が神流川になった。

1987年には割引沢から巻機山そして茂倉沢から「中芝新道」を登って一ノ倉岳から谷川岳を縦走して巖鋼新道を下りた。1988年には平ヶ岳沢から平ヶ岳を登り、会津駒ヶ岳も登った。そして1990年に行った赤谷川の笹穴沢から平標山、快適に登った120mの階段状の滝そして苗場山も登った。

1996年には尾瀬の清水から不動沢林道を2時間半歩いて、北岐沢から黒岩山と奥鬼怒山と物見山2,000mの山を2度登り返して遅くまで歩いた思い出の例会。

2001年には子供のように楽しく遊んだ神通川支流の高原川沢上谷、昨年登った武尊沢から武尊山、そして今年、僕は体調が思わしくなかったがテント生活と酒には勝てなかったので楽しく参加しました。

2日目(8月18日)の神流川金山沢は同行できなかったので、清水君に原稿を譲って三国山と国師ヶ岳について報告します。

1日目8月17日(金) 走りなれた名神高速から東海北陸道を走り中央道の勝沼ICで降りて、雁坂トンネルを抜けようと思ったが、時間が十分あるので「恵林寺」を見学した。恵林寺は1330年、「夢窓国師」によって開かれ、戦国武将 武田信玄が菩提寺と定めた臨済宗妙心寺派の寺である。敷地内には武田信玄の墓をはじめ柳沢吉保等の墓があり、重要文化財に指定されている「四脚門」・快川和尚の有名な言葉「心頭滅却すれば火も自ら涼しい」と記されている三門等がある。

雁坂トンネルを抜け秩父湖から中津峡に入って明日遡行する金山沢を偵察してからテント地を探した。工事中の人に聞いたら、上部のトンネルを抜けた所には広場とトイレがあると教えてもらったので、行ってみると快適なテント地であった。

2日目8月18日(土) メインの沢登りは参加出来なかったが、秘湯を守る会の温泉「柴原温泉かやの家」で樞の木一色で作った自然風呂に浸った。

3日目8月19日(日) 秩父郡荒川村から荒川の源流の中津峡に沿って悪路を三国峠まで走って、峠に車を止めて地図を見ると、近くに三角点の三国岳があるので行く事にした。峠の北側に踏み跡があり少し登ると良く踏まれた登山道があった。ブナ林の爽やかなルートを20分ほどで三角点に着いた。眺望は少しかすんであまり良くなかったが、長野県と埼玉県そして群馬県の三国境の山で少し得した

感じがした。

峠に帰ったらモトクロスのバイクの一団が休憩していた。この峠は荒川と千曲川の分水嶺で日本列島の真ん中でもある。峠から千曲川の源流に沿って川上村に下った。県境が変われば道もアスファルトで良くなった。

途中から峰越林道に入った。ロッククライミングで有名な「廻り目平」を右に見て林道を大弛峠まで走った。「廻り目平」の分岐を過ぎると道も悪路になった。峠には沢山の車が停まっていた。峠の標高が高いので近くの山に楽に行ける。金峰山や国師ヶ岳に登っている人の車であろう。軽食をして国師ヶ岳に行く。木道の階段が半分以上で少し整備のやりすぎではないかと思ったが、自然保護から見ると致し方ないであろうと感じた。国師ヶ岳も3回目で1991年と1994年に来ている。今回は富士山が見えなかったが、一等三角点であるから少しは救われたように思う。「日本庭園」と書いてある場所に着いた。なるほど樹木と石がバランス良く綺麗な庭園であった。大弛峠からは牧丘町の温泉に入って甲府市に下り甲府昭和ICから京都まで帰った。

【参加者】大槻雅弘, 岡本義弘, 田村正弘, 吉田 武, 清水康裕

【コースタイム】

2007年8月17日(金) 晴

6:35 京都東IC - 11:25 甲府昭和IC - 11:45 和風レストラン「夢庵」で昼食 12:35 - 13:00 恵林寺 13:30 - 14:35 ふれあいの森 14:50 - 15:15 上落合橋 - 15:30 八丁トンネル抜けた所の展望台駐車場テント泊

2007年8月19日(日) 晴 晩に一時雨

8:35 旅館「かやの家」出発 - 11:00 新三国峠 1,730m 11:20... (緑の回廊) ... 11:30 根点(公社の新しい点) ... 11:40 三国山山頂主根点 1,834m 11:50... 12:03 新三国峠 12:05 - 13:15 大弛峠昼食 13:45... 13:45 大弛小屋... 14:15 前国師ヶ岳 14:20... 14:25 分岐... 14:30 山梨百名山国師ヶ岳山頂 2,591.8m 14:40... 14:50 前国師ヶ岳... 15:05 夢の庭園... 15:15 大弛小屋 21°C... 15:15 大弛峠 15:30 - 16:35 花かげの湯 17:00 - 17:15 回転寿司「えびす」 18:10 - 18:35 甲府昭和IC - 22:35 京都東IC

清水康裕

2日目8月18日(土)の神流川金山沢から両神山について報告します。両神山の尾根に対して金山沢とは反対側へ八丁トンネルを抜けた北東側出入口横のトイレ付き展望台駐車場で昨日から優雅なテント泊を行っていた。起床すると雨が降っていた。この分では増水していて沢登りは難しいので、計画変更して国師ヶ岳に登ろうと後片付けして出発した。八丁トンネルを南西方向へ通り抜け、尾根に対して金山沢側へ出ると嘘みたいに晴れていた。変更計画を元計画に戻すことになった。登山口のある上落合橋と落合橋の間は斜面補強工事が行われていた。落合橋の下流側右岸に駐車場があって、そこで沢登りの準備を行う。吉田さんの体調が悪かったので、大槻さん、田村さん、義弘さん、僕が沢登りに行くことになった。工事の人から駐車場から下れると教えてもらい金山沢右俣に入谷する。

両側の山自体が切り立っていて、谷は幅が広い。10m弱程の逆層になっているナメ滝では、義弘先輩は難なく登られザイルを出してくださった。僕はまだフリクションを効かせるのが下手でズルズル4回滑り落ちた。「ザイルが無かったら、君は4回も死んだら。」と大槻さんが言われた。特訓しなければ。120mの大ナメ滝は苔がたくさん付いていて滑りやすい。ケルンが積まれている所を少し過ぎ

てから、最後の二股を右へ入る。つめの涸れた小滝が続くルンゼは、疲れた身体にかなりムチ打つような急登である。それを登りきると大笹からの支尾根に出た。そこで昼食をとり、沢登り装備から登山道装備に変えた。大槻さんは無線で吉田さんと連絡を取り始められ、その都度下山予定地に車を廻してもらって打ち合わせをされた。

大笹を經由し尾根道を歩く。分岐では両神神社や清滝小屋側がガスっているのと対照に反対の金山沢側は晴れている。天気に変化する境界になっている尾根に僕は初めて立った。百名山両神山山頂で万歳三唱や写真撮影したあと長居せず下りは始める。しばらくして鎖場登場である。八丁峠まで10m強で急斜面の鎖場を10箇所以上登り下りする。25,000分の1の地形図で読み取れない程の小刻みのアップダウンもそれぞれの鎖場間に存在する。八丁峠から八丁トンネル抜けた所のテント場へ下りたが、登山道が崩れていて足の置き場に気を付けなければならないし、壁の鎖を手繰って行く所もあって、かなり危険なルートであった。

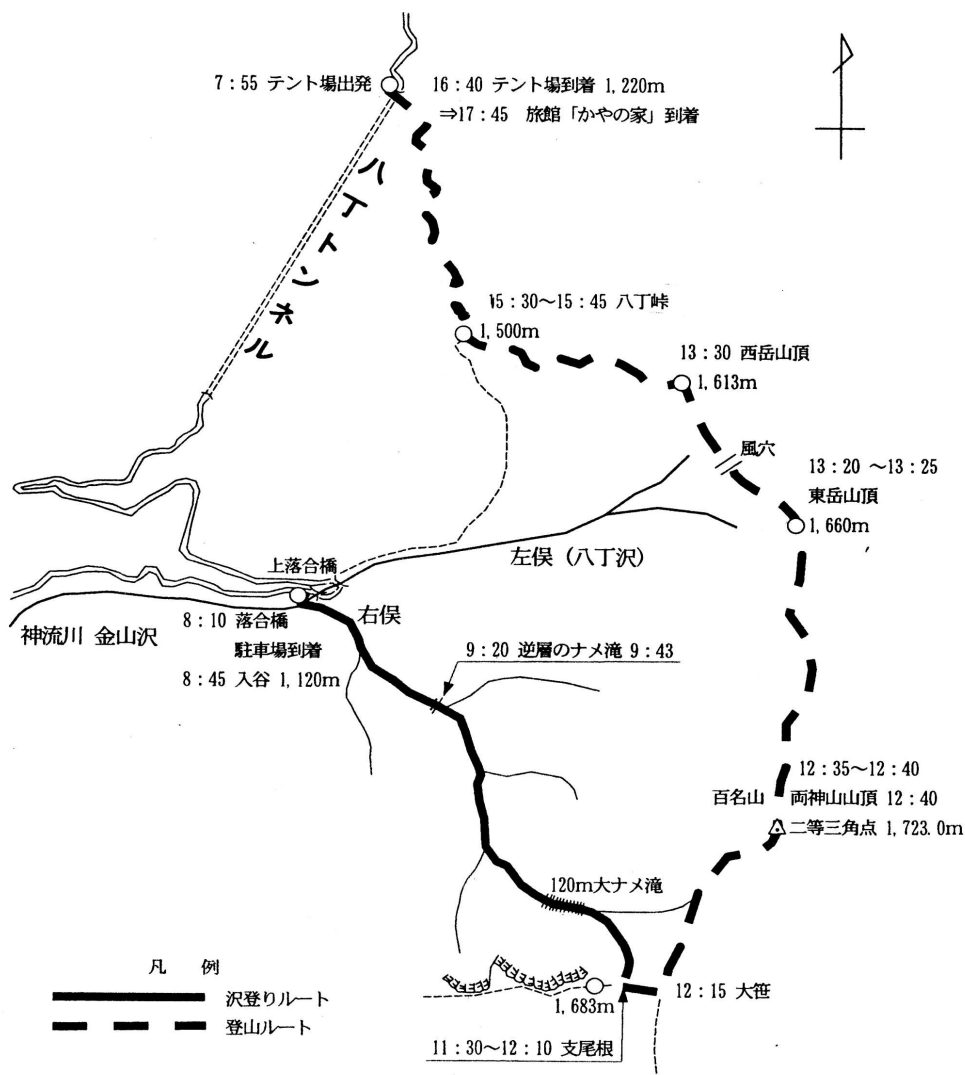
日頃の運動不足がたたったせいか、沢登りはハードであった。それ以上に登山道は苦痛であり、かなり値打ちがあった。

【コースタイム】

2007年8月18日（土）両神山の尾根の北東側（テント場側） 雨

両神山の尾根の南西側（金山沢側） 晴

（沢登り及び登山道については、下図に表示する。）



例会報告

例会No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2522	沢登り 神流川・金山沢から 両神山	8月17日 ~19日	晴 時々 雨	吉田 武	大槻雅弘 岡本義弘 田村正弘 清水康裕	(別稿詳報)
2523	奈良天理市 竜王山	9月1日	晴	堀田 剛 井戸澄夫		都合により、延 期しました。
2524	大峰 七面山	9月15日 ~16日	強風 雨	井戸澄夫	岡田茂久 森本清一 渡辺智生	(次号報告)

雑 報

△△△ 9月の集会

日 時 9月11日(火) 18:30~
場 所 厚生会館 4F 大教室
出席者 井戸, 大倉, 大槻, 岡田, 方山, 坂井, 堀田, 三橋, 吉田, 和田, 渡辺,
清水 以上12名
内 容 例会報告, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

△△△ 8月の企画運営委員会

日 時 8月21日(火) 18:30~
場 所 厚生会館 4F 六角会議室
出席者 井戸, 堀田, 方山, 吉田, 清水 以上5名
内 容 例会予告, 岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

8月号 青嶺, 木雞, 趣味の登山
9月号 北山, 京都山岳, わっぱ, 青嶺, 木雞, 一等三角点, 趣味の登山, 比良山岳
10月号 北山

△△△ 平成19年度会費受領者について

前号までに掲載しました会費受領者に加えて, 9月21日までに次の方々から受領しましたので報告します。

(敬称略) 岡本 勇, 上村次男, 台川敦美, 中村維源, 中山忠之, 室谷和彦, 山下周道,
松浦健一